

◆KASSAI : e-learning モジュールの完成・指導者研修の実施◆

母子健康手帳の e-learning モジュールが完成しました。これは、国家公衆衛生局と JICA が PSI と協力して、2021 年 11 月から作成を進めていました。KASSAI というプラットフォームからアクセス可能です。KASSAI に、これまであったマラリアや家族計画のモジュールに母子健康手帳のモジュールが追加されました。母子健康手帳の導入時研修や、既に手帳が導入された施設での医療従事者への反復学習等に活用されることが期待されています。内容も「母子健康手帳の基本情報」や、「産前／出産／産後ケア」、「小児健診」、「健康教育の方法」、「母子健康手帳の管理方法」等が含まれ、一通りの学習を終えると母子保健サービスや母子健康手帳の基本が学べるようになっています。また、アニメーションやイラスト等によって、とても学びやすく工夫されています。UNITEL（携帯通信会社）と提携しているため、保健局職員や保健施設で働く医療従事者は、登録することにより、通信料無料でアクセスできます。ポストテストで 80%以上を取った受講者には、修了証も発行されます。

KASSAI の使用方法や、研修の実施方法、母子健康手帳の配布計画等について、2月15日～18日（4日間）の日程で国家公衆衛生局の職員を対象として、指導者研修を実施しました。登録方法や、アプリのダウンロード方法、母子健康手帳モジュールの使用法を確認しました。また、モジュールの内容をもとにして、模擬講義も実施しました。新しいツールは国家公衆衛生局職員に大好評で、今後はプロジェクト対象州以外でも順次使用が拡大されていく予定です。



自前のスマホを使って KASSAI
の使用法の説明



指導者研修
～模擬講義の実施～

モニタリング&スーパービジョン（M&S）に関するアンケート調査結果

プロジェクトでは、「母子健康手帳が運用され、モニタリング及びスーパービジョン（M&S）の体制が構築される」ことを一つの目標として、母子健康手帳導入の過程で M&S の強化活動を行ってきました。市保健局がどの程度の頻度で M&S を実施できているのか、また M&S の実施が困難な場合は阻害要因が何なのかを情報収集・分析するために、アンケート調査を実施しました。その結果、母子健康手帳の導入前後を比較すると、全体に M&S の量（実施頻度）、質（実施内容）ともに向上が見られました。しかし、「実施頻度」については、導入前よりは向上が見られるものの目標である 3 カ月に 1 回の頻度には達しておらず、多くの市が、使用可能な車輛／交通手段がないことを阻害要因としてあげていました。指導者研修で、このアンケート調査結果をもとに、効果的で定期的な M&S の実施方法について意見交換を行いました。限られた資源（車輛や予算）を効果的に使用するため、「他の保健プログラムと協同での M&S 計画を立案し、実行する」という行動計画が立案されました。アンケート結果や指導者研修での協議内容及び行動計画については、各州で実施予定の KASSAI 研修で共有される予定です。